

～ 健口と輝く笑顔のために～

歯科衛生だより 会報

2018 April vol. **44**
 発行人/武井 典子 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <http://www.jdha.or.jp/>

平成29年度 都道府県歯科衛生士会会長会開催

平成30年2月10日(土)アルカディア市ヶ谷(東京都)において、都道府県歯科衛生士会会長会が開催された。

武井典子会長より、昨年度から注力している、災害支援、人材育成、人材活用の3点についての具体的な取り組みの説明ののち、「今後も執行部としてしっかり取り組んでいきたい。この会長会で前向きなディスカッションができることを期待している」と挨拶があった。引き続き議題に入り、議題内容として、(1)平成30年度事業計画の概要について(2)「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」について(3)「第4次生涯研修制度」の見直しの方向性について(4)平成30年度「ブロック連絡協議会」及び「ブロック別・災害支援歯科衛生士フォーラム」実施要領について(5)「地域ケア会議」取り組み状況についてのアンケート結果について(6)平成30年度厚生労働省歯科関連予算について(7)その他「平成28年度地域歯科保健活動実施状況調査報告」「歯科衛生士手帳に関するアンケート」「歯科衛生士賠償責任保険制度 総合生活保険のご案内」「歯科衛生士連絡書作成(脳血管疾患)」の報告と説明があった。



後半は、東京医科歯科大学名誉教授 須田英明氏より「歯科衛生士の人材確保・復職支援について～『検討会』座長からの報告～」と題してご講演いただいた。その後、全国6ブロックに分かれての分科会では、活発な意見交換が行われ閉会となった。

歯科衛生推進フォーラム開催

2月11日(日)ステーションコンファレンス東京において、「歯科衛生推進フォーラム」が開催された。はじめに武井典子会長が、毎年この時期に行われている歯科衛生推進フォーラムの目的についての説明の後、「歯科衛生士は健康寿命の延伸のためにそれぞれの地域で連携しながら専門性を生かした活動することが求められている。今回のフォーラムを参考にいただき、さらに地域に還元できるよう、努めていただきたい」と挨拶された。次に、厚生労働省医政局歯科保健課長 田口円裕氏にご挨拶をいただいたのち、引き続き「歯科保健を取り巻く状況について」と題し、健康寿命の延伸に向けた歯科口腔保健施策などについてご講演いただいた。その後、札幌市保健福祉局母子保健・歯科保健担当部長(前厚生労働省)秋野憲一氏より「2018年介護保険制度改正及び介護報酬改定の動向」について、3年ごとに見直しが行われている介護保険制度及び介護報酬改定に関してご講演いただいた。

午後のシンポジウムは「歯科医療における地域連携の推進を目指して」をテーマに行われた。基調講演では、厚生労働省医政局歯科保健課歯科医療技術参与 則武加奈子氏に「歯科保健医療を取り巻く状況と歯科衛生士に期待すること」と題してお話いただいた。その後、地域で活躍している4名の歯科衛生士より地域連携について、それぞれの立場から活動報告があった。ディスカッションでは、活動に関して活発な意見交換がなされ、講師からもご助言をいただいた。

平成29年度の会長会、歯科衛生推進フォーラムの詳細は「歯科衛生だより 会報 45号」に掲載予定である。



平成30年度 認定歯科衛生士セミナー開催のお知らせ

コース	開催地	前 期	後 期
生活習慣病予防 (特定保健指導一食生活改善指導担当者研修)	東京都	8月25日(土)・26日(日)	10月6日(土)～8日(月・祝)
摂食嚥下リハビリテーション			

在宅療養指導・口腔機能管理コース(共催:開催地の都道府県歯科衛生士会 後援:日本老年歯科医学会)

ブロック	共 催	開催地		開催日
北海道・東北	神奈川県歯科衛生士会	横浜市	前 期	8月 4日(土)・ 5日(日)
関 東 信 越			後 期	8月11日(土)・12日(日)
東 海 北 陸	大阪府歯科衛生士会	大阪市	前 期	7月 7日(土)・ 8日(日)
近 畿			後 期	8月18日(土)・19日(日)
中 国 四 国	広島県歯科衛生士会	広島市	前 期	7月28日(土)・29日(日)
			後 期	9月29日(土)・30日(日)
九 州	熊本県歯科衛生士会	熊本市	前 期	7月21日(土)・22日(日)
			後 期	10月27日(土)・28日(日)

コース	委託機関	開催地	前 期	後 期
糖尿病予防指導	徳島大学歯学部	徳 島 市	10月13日(土)・14日(日)	11月10日(土)・11日(日)
医科歯科連携・ 口腔機能管理	九州 歯 科 大 学	北九州市	9月3日(月)～9月7日(金)	
	東 京 歯 科 大 学	東 京 都	前期:7月5日(木)～7日(土)／後期:7月30日(月)～9月25日(火)のいずれかの月火2日間	

認定歯科衛生士セミナー受講申請は、ホームページから！

平成30年度より認定歯科衛生士セミナー受講申請は、郵送による申込みからオンライン受講申請に変わりました。
日本歯科衛生士会ホームページの会員ページよりお申込みください。

◆認定歯科衛生士セミナー オンライン受講申請の流れ◆

受講可能コースの通知のハガキを受け取る

前年度3月

日本歯科衛生士会HPの会員ページからメールアドレスを登録・送信

当該年度4月

登録されたメールアドレスに、確認メールが届く

確認メールのリンクから、受講申請(受講したいコースを申込み)

受講決定通知が送信され、受講料を振り込む ※申込みが定員を超えた場合は、抽選により受講者を決定

当該年度5月

認定セミナー書類・受講証が郵送される

認定セミナー開催1か月前

※従来の郵送による申込みもできます。その場合は、下記までお問い合わせください。

認定セミナー申込みに関するお問い合わせ先: 03-3209-8020

ブロック連絡協議会 ブロック別・災害支援歯科衛生士フォーラム開催報告

北海道・東北ブロック（福島県）

北海道・東北ブロック理事 浅木 美智子

平成29年11月25日(土)、26日(日)福島市杉妻会館において、北海道・東北ブロック連絡協議会、ブロック別災害支援歯科衛生士フォーラムが開催された。1日目は、ブロック連絡協議会が行われ、日本歯科衛生士会より武井典子会長、茂木美保専務理事を迎え、7道県から29名が参加した。来賓の福島県歯科医師会会長海野仁氏のご挨拶の後、武井会長が挨拶された。

「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」および「第4次生涯研修制度」について日本歯科衛生士会からの報告の後、各道県会より出された協議事項に添って進められ、歯科衛生士を取り巻く状況の変化に対応すべく歯科衛生士の育成、歯科衛生士会の組織強化について、活発な意見交換がなされた。

2日目のブロック別災害支援歯科衛生士フォーラムでは、福島県歯科衛生士会菅野洋子監事より、「災害支援活動 歯科衛生士実践マニュアル」の説明が行われた。その後、宮城県精神保健福祉センター所長小原聡子氏を迎え、「PFA(サイコロジカルファーストエイド)を通じて災害時支援の心構えと対応を学ぶ」と題してご講演いただいた。マニュアルの説明は、被災地での歯科衛生士活動を行う上での準備から支援に至るまでを、東日本大震災で支援を行った経験を交えての説明であったため、より身近なものとして理解できた。PFAについての講演は、基本的な考え方を知ることにより、支援活動を行う際、どのように参加するのか理解していかなければならないと感じた。災害支援を行う際の基本を学んだ研修会であった。2日間の日程を無事終了し、次年度の北海道へ引き継ぎをした。



東海北陸ブロック（石川県） 一般社団法人石川県歯科衛生士会 東海北陸ブロック担当 越田 美和

平成29年12月2日(土)・3日(日)、金沢市において東海北陸ブロック連絡協議会が開催された。日本歯科衛生士会から武井典子会長、影近瑞穂ブロック理事を迎え、7県から総勢32名が参加した。

最初に、武井会長から「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会について」ご講演いただいた。これからの歯科衛生士に求められるものとして介護予防・生活習慣予防・有病者についての知識が必要であること、人材育成・復職支援事業の状況、「第4次生涯研修制度」の概要について説明があった。影近ブロック理事からは、学生や非会員への歯科衛生士会入会勧誘時に活用できる「入会のご案内の活用」について説明があった。日本歯科衛生士会への質疑応答では、予定していた時間を超えて活発な意見交換が行われた。全体協議では、ブロックの組織強化や、会の運営方法など話し合い、各都道府県会の活動内容を共有した。前年度に決まった「東海北陸ブロック新聞」発行の調整を行った。



ブロック別災害支援歯科衛生士フォーラムは49名の参加で、桜美林大学心理・教育学系教授種市康太郎氏より「PFAを活用しての被災者への支援」についてご講演いただいた。昨今、歯科衛生士も被災地へ向かい、支援を行う機会が増えてきたが、被災者への対応に戸惑うことも多い。しかし、講演では誰もができる支援の方法など分かりやすく教えていただいた。

2日間の協議会等で、歯科衛生士に対する期待の大きさや、役割が増えてきたことが実感でき、各都道府県会の運営や人材の確保、ブロック連携強化の必要性を改めて感じた。

近畿ブロック（奈良県）

一般社団法人奈良県歯科衛生士会 会長 吉福 美香

平成29年12月17日(日)奈良市において、近畿ブロック連絡協議会が、日本歯科衛生士会より武井典子会長、上田和美副会長、吉本美枝ブロック理事を迎え、2府4県より19名の参加のもと開催された。

武井会長より、歯科衛生士の人材育成・人材確保の重要性について、「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会について」の説明の後、事前にあげていた日本歯科衛生士会への要望事項についてご回答いただいた。上田副会長からは「第4次生涯研修制度」の説明、吉本ブロック理事から「入会のご案内の活用」についてご説明をいただいた。

協議会では、13題の協議、報告、情報交換が行われ大変有意義な協議会となった。議題「災害連携について」では、本年度の課題をもとに、来年度のブロック別災害支援歯科衛生士フォーラムでの構築を目標とし、さらに会長間で連絡を取り合い進めていくことを決定した。

また、協議会に先立ち平成29年7月23日(日)には、ブロック別災害支援歯科衛生士フォーラムが開催され47名の参加があった。『「災害支援活動 歯科衛生士実践マニュアル」の理解』と題して兵庫県歯科衛生士会の高橋千鶴監事より、刷新されたマニュアルをもとに、刻々と変化する状況に対応できる歯科衛生士の育成と職種間で情報を記録として残すワークが有効であることをお話しいたいただき、引き続き3府県から研修と活動の報告を行った。その後、「今、南海トラフ地震・大規模災害が起こったらどう支援する」としてフェーズ2の時期に何をすべきかを被災県、隣接県、周囲県を想定しグループワークを行い、一昨年度の日本歯科衛生士会フォーラムから一歩進んだ内容で議論することができた。兵庫医科大学の門井謙典氏にも総評をいただき各府県で課題を持ち帰ることとなった。

最後に、ブロック連絡協議会が無事終了したことを心より感謝申し上げたい。



平成28年度地域歯科保健活動実施状況報告

公益社団法人日本歯科衛生士会では、毎年各都道府県歯科衛生士会の地域歯科保健活動の状況を把握し、今後の活動のさらなる推進を図るために調査を実施している。以下に平成28年度調査結果のまとめを報告する。

I 調査方法及び内容

調査方法は各都道府県歯科衛生士会に電子媒体で調査様式を配付し、47都道府県歯科衛生士会すべてから回答を得た。

1. 実施主体別

1 主催事業

各都道府県歯科衛生士会が計画、実施した事業

2 共催・協力・後援事業

地方自治体、歯科医師会、その他から依頼を受けて実施した事業

3 受託事業

地方自治体、歯科医師会、企業等から委託を受け、契約書を交わして実施した事業

2. 事業内容別

- ① 母子歯科保健に関する事業
- ② 学校歯科保健に関する事業
- ③ 成人歯科保健に関する事業
- ④ 高齢者・要介護者歯科保健に関する事業
- ⑤ 障害児(者)歯科保健に関する事業
- ⑥ 休日救急歯科診療に関する事業
- ⑦ 歯と口の健康週間に関する事業
- ⑧ その他の事業
- ⑨ 各種委員会への構成員としての参画

II 調査結果

1. 実施回数

実施回数の総合計は、48,431回であり、実施主体別では、共催・協力・後援事業が31,144回(64.3%)、受託事業が16,713回(34.5%)、主催事業574回(1.2%)であった(図1)。共催・協力・後援事業および受託事業ともに行政からの依頼が7割以上、次いで歯科医師会からの依頼が2割弱であった(図2、3)。

事業内容別の実施回数では、母子歯科保健に関する事業が20,067回(41.4%)と最も多く、次いで高齢者・要介護者歯科保健の10,332回(21.3%)、学校歯科保健の5,439回(11.2%)であった(図4)。行政から依頼された事業は、母子歯科保健が54.1%、高齢者・要介護者歯科保健が17.9%の順に多く、歯科医師会から依頼された事業は、休日救急歯科診療が28.9%、高齢者・要介護者歯科保健が20.5%の順に多かった(図5)。

2. 実施延べ人数

実施総延べ人数は1,788,268人であり、実施回数と同様に母子歯科保健が678,944人(38.0%)と最も多く、次いで学校歯科保健が514,634人(28.8%)、高齢者・要介護者歯科保健が155,729人(8.7%)であった(図6)。

3. 年次別活動状況

今回の実施回数および実施延べ人数を前年度の調査結果と比較した結果、大きな違いはなかったが、母子歯科保健(659回増、29,220人増)、学校歯科保健(808回増、45,654人増)、成人歯科保健(99回増、人数9,808人増)に増加がみられた(図7、図8)。

実施回数、実施延べ人数を経年的にみると、回数は平成24年度の55,043回をピークに減少し、前年度の48,430回からほぼ横ばいとなっている。一方で、実施延べ人数は年々増加傾向にある(図9)。

参加歯科衛生士の総数は101,123人であり、前年の104,091人に比べ減少しているが、1回の事業に従事する歯科衛生士数は、2人程度と大きな変化はない。しかし、歯科衛生士1人当たりの平均実施人数は、年次を追って増加傾向を示しており、平成20年度に平均12.1人であったものが、平成28年度では17.7人と、5.6人の増加がみられた(図10)。また、各地域において開催されている地域ケア会議など、さまざまな委員会・検討会の構成員として参加している歯科衛生士数は、平成22年度の789人から約2.7倍の2,093人に増加した(図11)。

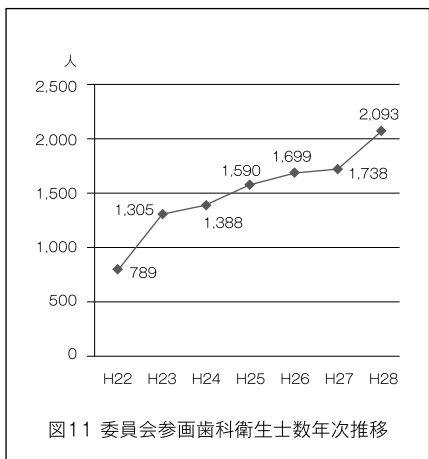
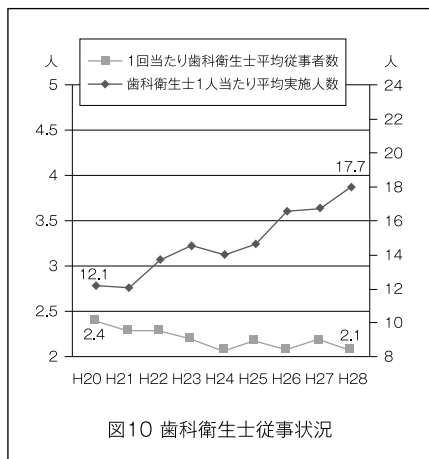
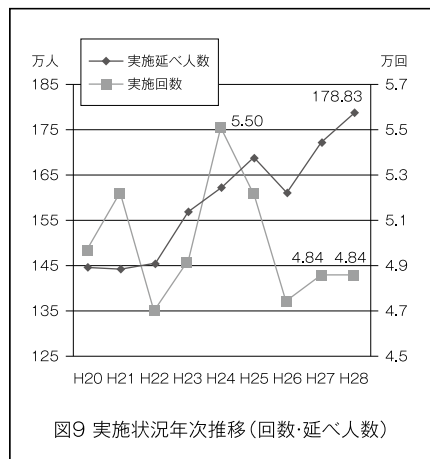
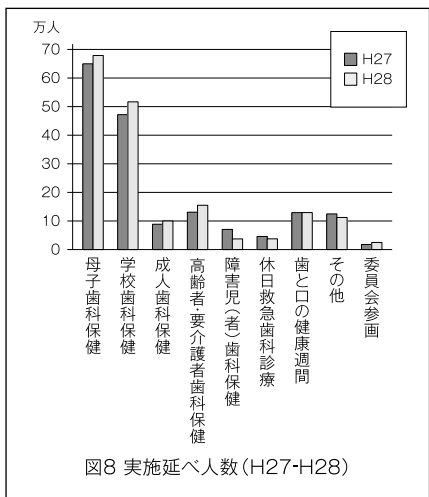
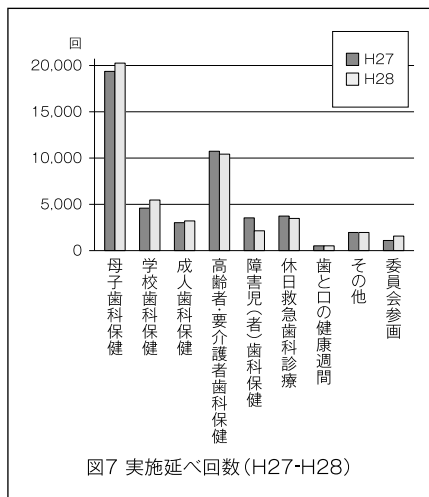
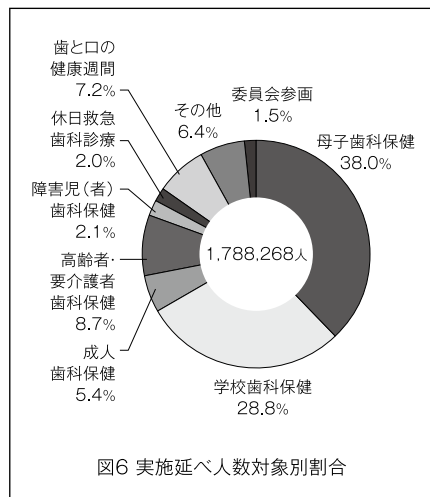
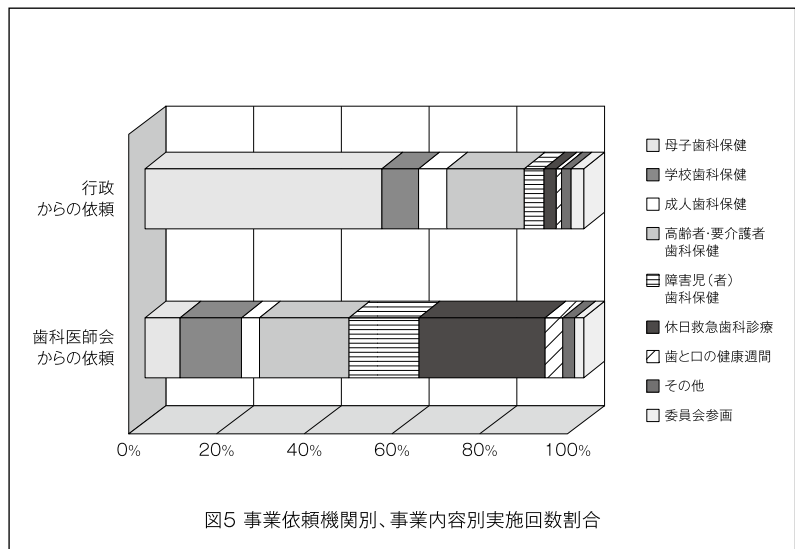
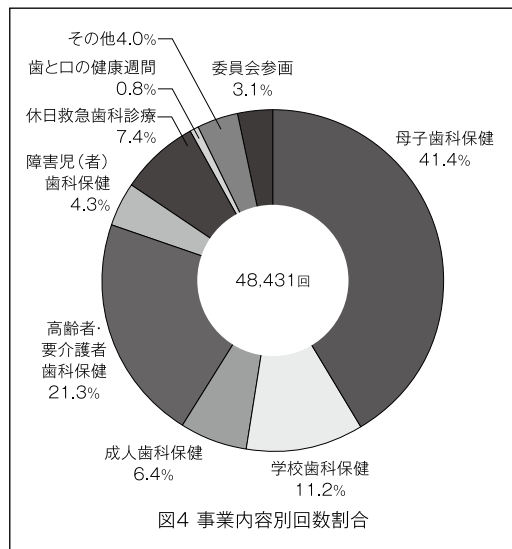
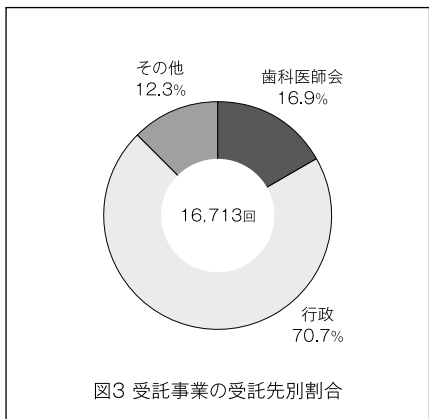
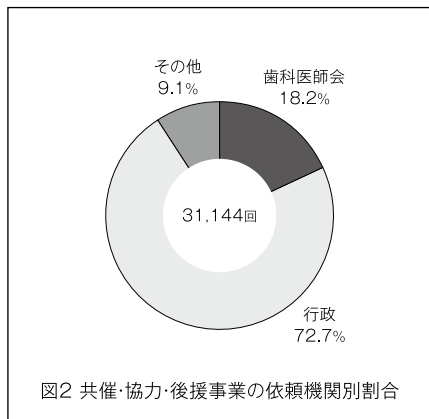
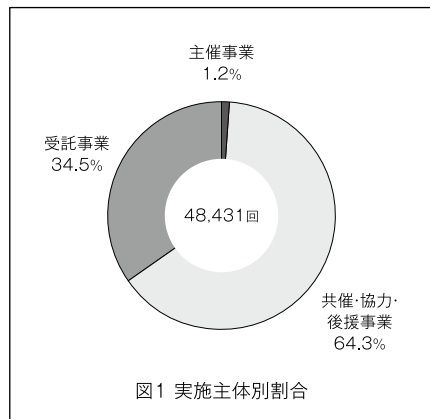
III まとめ

今回の調査結果から、地域において母子から高齢者まであらゆるライフステージに対応したさまざまな事業が実施されていること、各事業における歯科衛生士1人当たりの平均実施人数が毎年増加していることが明らかとなった。また、地域ケア会議等の委員会への参加が増加していることから、歯科衛生士が直接的な歯科保健サービスの提供だけでなく、専門職としてさまざまな会議において助言が求められる機会が増加したと考えられた。

毎年、各都道府県会の協力のもとに行われる地域歯科保健活動実施状況調査は、社会ニーズを理解するとともに歯科衛生士が地域に貢献している状況を数値で確認できる貴重な調査となっている。

今後、各都道府県歯科衛生士会において、地域歯科保健活動の在り方を検討する基礎資料としてご活用いただけることを願っている。

(公益社団法人日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会)



日本歯科衛生学会 第13回学術大会のご案内

メインテーマ

口から食べる倅の追求

開催期日

平成30年9月15日(土)～17日(月・祝)

開催場所

福岡国際会議場
福岡県福岡市博多区石城町2-1

共催

一般社団法人福岡県歯科衛生士会

主催

日本歯科衛生学会
公益社団法人日本歯科衛生士会

後援予定

福岡県、福岡市
一般社団法人福岡県歯科医師会
一般社団法人福岡市歯科医師会

9月15日(土) 13:00～14:30 14:45～16:45	全国病院歯科衛生士連絡協議会 受付開始(14:00) ワークショップ	
9月16日(日) 9:30～10:30 10:40～11:50 12:00～12:50 13:10～14:50 15:00～16:00 16:10～17:10 17:30～19:00	受付開始(8:30) 開会式、表彰式、学術賞授賞者プレゼンテーション 口演発表 ランチョンセミナー 口演発表、ポスター発表 県民フォーラム「ベコロスの母に会いに」 漫画家・音楽家 岡野 雄一 氏 特別講演「栄養状態から考える口腔と全身の健康ー糖尿病と歯周病の関連を中心にー」 九州大学大学院 歯学研究院 教授 西村 英紀 氏 懇親会	商業展示
9月17日(月・祝) 8:50～ 9:00 9:00～12:00 12:10～13:00 13:20～14:20 14:30～15:30 14:30～16:00 16:00～	受付開始(8:30) 第14回学術大会案内 シンポジウム テーマ:口から食べる倅の追求ー地域包括ケア時代の多職種連携ー 基調講演「地域包括ケアの時代に歯科衛生士に期待すること」 医療法人 共和会 小倉リハビリテーション病院 名誉院長 浜村 明德 氏 講演1「在宅における歯科医師の取り組み」 社会医療法人 原土井病院 歯科部長 岩佐 康行 氏 講演2「病院における言語聴覚士の取り組み」 社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院 リハビリテーション科 主任 大森 政美 氏 講演3「地域における歯科衛生士の取り組み」 筑紫歯科医師会 歯科医療連携室 高野 ひろみ 氏 ランチョンセミナー 教育講演「口から食べて治癒力を高めよう」 九州歯科大学 老年障害者歯科学分野 教授 柿木 保明 氏 研究討論会 口演発表、ポスター発表	商業展示

※タイムスケジュール等は、演題数により変更になる場合があります。

演題申込受付中

第13回学術大会の会員発表演題を、インターネットによるオンライン登録システムにて受け付けています。

受付期間は4月13日(金)正午までです。申込み方法などの詳細は下記URLまたは日本歯科衛生学会雑誌Vol.12 No.2をご参照ください。多くのお申込みをお待ちしています。

演題応募要領ページURL <https://www.jdha.or.jp/jsdh/endai.html>

平成30年度 公益財団法人富徳会研究助成のご案内

平成30年度の募集は、4月1日より始まります。対象は、歯科衛生業務に従事する歯科衛生士(業務経験2年以上で、40歳以下)です。

応募方法などの詳細は、富徳会ホームページ[<http://www.isi-sys.net/futokukai/>]をご覧ください。

平成29年度 健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会) 「厚生労働大臣表彰」受賞

公益社団法人埼玉県歯科衛生士会
井山 公美子

このたびは、埼玉県歯科衛生士会の推薦をいただき「平成29年度 健やか親子21全国大会」において厚生労働大臣表彰を受賞するという身に余る栄誉にあずかり、光栄に存じます。

熱心な先輩方や仲間たちに導かれて研修や活動に参加する機会に出会えたことは、多様な場で活動している歯科衛生士として幸いでした。そして今、皆様が各分野で活躍されていることを嬉しく、誇りに思っています。埼玉県の人口は全国第五位で子育て世帯が増加してきている地域もありますが、高齢化は猛スピードで進行しています。高齢者の支援が多くなってきている中で、妊婦から幼児への途切れない支援に目を向け、一翼を担って未来につなげたいと、歯科保健活動の場を拓いている埼玉県歯科衛生士会会員の方と共にこの賞を分かち合いたいと思います。



「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」 ～歯科衛生士総合研修センター設立を記念したキックオフセミナーが開催～

平成30年1月14日(日)東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂にて「歯科衛生士総合研修センター設立キックオフセミナー」が開催された。

平成29年度、厚生労働省委託事業として「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」が実施されている。日本歯科衛生士会では「歯科衛生士復職支援など共通プログラムの策定」および「全国レベルでの研修指導者」の養成を受託・実施している。このたび、東京医科歯科大学が受託された「歯科衛生士技術修練部門整備・運営事業」の一環として、「歯科衛生士総合研修センター」が設立され、その記念としてキックオフセミナーが開催された。

セミナーは、若林則幸氏(東京医科歯科大学歯学部附属病院院長)の開会の挨拶後、和田康志氏(厚労省医政局歯科保健課課長補佐)より「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の目指すところ」の基調



講演、さらに、水口俊介氏(歯科衛生士総合研修センター長)より歯科衛生士総合研修センターの役割について紹介された。

その後、5名の講演がスタートし、最初に武井典子会長より「歯科衛生士は一生の仕事。歯科衛生士のデビューから復帰まで応援します」と題し、日本歯科衛生士会としての具体的な事業内容や考え方を話された。続いて、渡邊麻理氏(カウンセラー・歯科衛生士)より、「患者理解を深め、ラポール形成に活かすコミュニケーションスキル」について、峯岸陽子氏(社会保険労務士・歯科衛生士)は、「歯科医院における労働基準法(基礎編)」について、小玉剛氏(日本歯科医師会理事)は、「歯科医師からみた歯科衛生士の地域における役割」について、あおぞら診療所勤務山口朱見氏(日本歯科衛生士会理事)は、「歯科衛生士の地域における役割と活動」について、それぞれの立場で、超高齢社会における歯科衛生士への期待とその対応の必要性について熱く語られた。参加者は、今後研修センターで研修を希望する歯科衛生士のみでなく、歯科衛生教育に携わっている先生方、都道府県歯科衛生士会の役員等も、皆熱心に耳を傾けていた。

講演の内容は、東京医科歯科大学および講師の皆様の了解を得て、日本歯科衛生士会ホームページの「eラーニングサイト」より閲覧できます。

(広報担当理事 伊藤真知子)



Linking JDHA to IFDH

『International Journal of Dental Hygiene』

本会では、IFDH発行の『International Journal of Dental Hygiene』の購読をしています。2017年11月号の目次を紹介します。本会において閲覧することができますので、ご希望の方は国際協力委員会までお申し込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生士誌

2017年11月第15巻4号

原著論文

- 歯科衛生士がいない歯科医療システムにおける口腔衛生指導の提供および患者動機づけの課題
- SRP後に用いたクロルヘキシジンと塩化セチルピリジニウムの配合割合が異なる2種類の新洗口剤の検討(パイロットスタディ)
- クロルヘキシジン洗口剤の単回の使用においてアルコール含有の有無が抗菌活性と味覚に与える影響(無作為化クロスオーバー臨床試験)
- インプラントメインテナンスにおけるエアージェットとクロルヘキシジン併用の手用スケーラーによるデブリッドメントの比較(無作為化臨床試験)
- 自立高齢者への口腔保健に関するインタビュー調査

- 高齢者施設入所者の歯科治療の必要性和治療費を予測する評価指標の検討
- 高齢者の視点からみた定期的な歯科受診を促進または妨げる要因(質的インタビュー調査)
- 高齢者における歯科受診パターン:スウェーデンの公私立歯科診療所における記録の後ろ向きレビュー
- カナダの高齢者施設入所者の歯周炎に対する電動歯ブラシの効果(無作為化比較試験)
- 歯ブラシの毛先の丸みによる歯肉退縮への影響(二重盲検無作為化臨床試験)
- 歯みがき前の水を使った洗口がプラーク除去効果へ与える影響(スプリットマウスデザイン)

特定非営利活動法人群馬県歯科衛生士会

創立50周年を迎えて

特定非営利活動法人 群馬県歯科衛生士会
会長 入山 久美子



平成29年11月23日(木)、群馬県歯科衛生士会は、創立50年目のよき日を迎え、祝賀記念行事を挙行することができました。日本歯科衛生士会武井典子会長、金澤紀子顧問、また群馬県庁の関係課はじめ群馬県歯科医師会、群馬県歯科技工士会など多数の来賓にご臨席をいただきました。

式典では、創立50周年記念知事表彰を内藤良美様、戸間和子様が受賞されました。最後には歴代会長が揃うなか、当会代表として久保田洋子初代会長から感謝の言葉を述べていただくことができ、意義深い式典となりました。

記念講演では、金澤紀子顧問より「歯科衛生士の展望～超高齢社会における役割～」と題し、ご講演をいただき、歯科衛生士のこれまでの歴史や今後の課題、私達がなすべきことをお示しいただきました。これから、群馬県歯科衛生士会として確実なあゆみが続けていく所存です。

当会は、昭和52年日本歯科医師会表彰、昭和63年群馬県文化賞、平成6年群馬県小児保健賞、平成7年群馬県母性衛生学会賞、平成28年には、歯科保健事業功労として厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。また、県内で、歯科保健に関しての功労として群馬県歯科保健賞をまさに50周年の年に、受賞することができました。数々の受賞は、当会会員の地道な活動と日頃よりご指導をいただいている関係各所の皆様のおかげと感謝申し上げます。

これからも、日本歯科衛生士会、関係各所の皆様のご支援をいただきながら、会員一同、歯科衛生士として業務に進進し、更なる歴史を積み重ねる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事会報告

平成29年度第4回理事会が12月9日、第5回理事会が平成30年1月21日に開催された。審議事項および報告事項は次のとおりである。

第4回理事会

審議事項

- (1) 歯科衛生士法制定70周年・会創立65周年記念事業について
- (2) 第4次生涯研修制度について
- (3) 平成30年度ブロック連絡協議会実施要領(案)について
- (4) 平成30年度ブロック別・災害支援歯科衛生士フォーラム実施要領(案)について
- (5) 平成30年度認定歯科衛生士セミナー実施計画(案)について
- (6) 認定研修申請手続きオンライン化について
- (7) 平成30年度「地域歯科衛生活動」事業助成交付要項(案)について
- (8) 平成30年度事業計画の概要(案)について
- (9) 規則・規程の一部改正について
- (10) 新入会員の承認について
- (11) その他

報告事項

- (1) 会務報告について
- (2) 「臨床・臨地実習マニュアル」について
- (3) 地域ケア会議の参加状況アンケートについて
- (4) 第2回常務理事会について
- (5) 地域歯科保健活動実施状況報告について
- (6) 「周術期」リーフレットについて
- (7) 第1回歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業に関する運営協議会報告について
- (8) 第5回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会報告について
- (9) 社保審一介護給付費分科会資料について
- (10) 歯科衛生士手帳に関するアンケートについて
- (11) 国民医療推進協議会報告について
- (12) 賠償責任保険の保険請求について
- (13) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定について
- (14) 「病院に勤務する歯科衛生士の実態調査」に関する報告書について

第5回理事会

審議事項

- (1) 規則・規程の一部改正等について
 - ① 委員会規程の一部改正について
 - ② 「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会実施要項(案)について
 - ③ 講師謝金等に関する規程の一部改正について
- (2) 委員の委嘱について
 - ① 日本歯科衛生学会編集委員会査読委員(平成30年2月1日付)
 - ② 国際協力委員会委員(平成30年4月1日付)
 - ③ 「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会委員(平成30年4月1日付)
 - ④ 医療連携歯科衛生士委員会委員(平成30年4月1日付)
 - ⑤ 指導者等講習会企画運営委員会委員(平成30年4月1日付)
- (3) 理事の職務分掌について
- (4) 平成30年度歯科衛生推進委員会重点課題(案)について
- (5) 平成30年度事業計画(案)について
- (6) 平成30年度収支予算(内訳書)案について
- (7) 新入会員の承認について
- (8) 平成30年度職員給与について
- (9) その他

報告事項

- (1) 会務報告について
- (2) 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業について
 - 歯科衛生士復職支援共通ガイドライン(第1版)
 - 新人歯科衛生士技術支援共通ガイドライン(第1版)
 - 新人歯科衛生士等の育成プロセス(復職支援含む)
- (3) 平成30年度厚生労働省歯科関連予算案(復職支援関連)について
- (4) 平成28年度地域歯科保健活動実施状況調査報告書(案)について
- (5) 第4次生涯研修制度実施要綱(平成30年4月1日)について
- (6) 「地域ケア会議」取り組み状況アンケート結果について
- (7) 歯科衛生士連絡書(脳血管障害)について
- (8) マンガでわかるメディカルスタッフの仕事(歯科衛生士)について
- (9) 日本歯周病学会の報告(連絡事項)について
- (10) 日本スポーツ歯科医学会(理事会)報告について
- (11) 歯科衛生士賠償責任保険について(報告)
- (12) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定について

その他

- (1) 平成29年度都道府県歯科衛生士会会長会の実施について
- (2) 平成29年度歯科衛生推進フォーラムの実施について